

事業者名称(事業者番号):スマイルショートステイ(257240035)TEL0749-54-8201

提供サービス名:短期入所生活介護

評価年月日: 2021年 2月 2日

## 評価結果整理表

### ○共通項目

I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1)理念、基本方針が確立・周知されている。 <span style="float:right">着眼点の数</span>			
①	a	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	6 項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
理念・方針をホームページ等で掲載することで、多くの方に周知していただいている。また、毎年1回は全職員対象にした基本理念のテストも実施している。			
2 経営状況の把握			
(1)経営環境の変化等適切に対応している。 <span style="float:right">着眼点の数</span>			
①	a	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	4 項目/4項目
②	a	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	4 項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
法人全体の運営について、毎月進捗状況を書面に記載し確認している。また、理事会等において、進捗状況に応じて補正を実施している。			
3 事業計画の策定			
(1)中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 <span style="float:right">着眼点の数</span>			
①	a	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	4 項目/4項目
②	a	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	4 項目/4項目
(2)事業計画が適切に策定されている。			
①	a	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが行われ、職員が理解している。	4 項目/5項目
②	a	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	3 項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
事業計画等は、理事会承認後の年度初めに連絡文書にて、全職員へ周知しており、ホームページにおいても常時閲覧可能となっている。			
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組			
(1)質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 <span style="float:right">着眼点の数</span>			
①	a	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	4 項目/4項目
②	a	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	5 項目/5項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
サービス向上委員会等の会議の中でも話し合い、質の向上に向けて取り組んでおり、年1回の自己評価の際は、関係部署の担当が評価を実施している。			

II 組織の運営管理			
<b>1 管理者の責任とリーダーシップ</b>			
(1) 管理者の責任が明確にされている。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>			
①	a	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	4 項目/4項目
②	a	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	4 項目/4項目
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①	a	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	5 項目/5項目
②	a	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	4 項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
全職員を対象に年2回、業務への対応及び自己啓発に関する内容を踏まえての目標と評価を個人が実施。それをもとに、面談を行い意見を聞いている。また、朝のミーティングや会議においても意見を求めており、日常的に全職員と関わる時間を作っている。			
<b>2 福祉人材の確保・育成</b>			
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>			
①	a	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4 項目/4項目
②	a	総合的な人事管理が行われている。	6 項目/6項目
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①	a	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	8 項目/8項目
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①	a	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	5 項目/5項目
②	a	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	5 項目/5項目
③	a	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	5 項目/5項目
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
①	a	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	5 項目/5項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
新人及び中途採用職員の教育については、教育プログラムに基づき、能力や経験に合わせて研修期間を設けて評価を行っている。また、外部の研修についても、今年度は中止するのではなく、WEB、リモートでの研修に切り替え実施している。			

<b>3 運営の透明性の確保</b>			
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>			
①	a	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	5 項目/5項目
②	a	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	6 項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
ホームページ等において事業の活動内容等について公開している。また、苦情や相談等についても第三者委員会において報告、公開しており、全てにおいて明確にしている。			
<b>4 地域との交流、地域貢献</b>			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>			
①	b	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	3 項目/5項目
②	a	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	5 項目/5項目
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①	a	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	5 項目/5項目
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
①	b	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	3 項目/5項目
②	a	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	6 項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
今年度はコロナ禍の中での運営であり、どの事業所も必要最低限の行事を実施。その中で、ご利用者の安全確保第一の考えのもと、活動を自粛しながらの事業となった。			

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施		
1 利用者本位の福祉サービス		
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>		
①	a	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。 5 項目/5項目
②	a	利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。 7 項目/7項目
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
①	a	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。 5 項目/5項目
②	a	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。 5 項目/5項目
③	a	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。 4 項目/4項目
(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
①	a	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 5 項目/5項目
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	a	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 7 項目/7項目
②	a	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。 3 項目/3項目
③	a	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 6 項目/6項目
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
①	a	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 6 項目/6項目
②	a	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 6 項目/6項目
③	a	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。 5 項目/5項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
<p>コロナ禍の中においても、施設内において、権利擁護や災害に関する内部研修を全職員を対象に実施することができた。また、面会も禁止させていただいている中、WEBによる面会を実施し、その対応の中でご家族からのご意見・要望をお伺いした。</p>		

2 福祉サービスの質の確保			
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>			
①	a	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	4 項目/4項目
②	a	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	4 項目/4項目
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
①	a	アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	7 項目/7項目
②	a	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	4 項目/4項目
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
①	a	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	6 項目/6項目
②	a	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	6 項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
ご家族、担当ケアマネージャーと連携を図りながら、ご本人、ご家族様が安心・安全にサービスを受けて頂けるよう、その都度見直しを行っている。			

## ○内容評価項目

A-1 生活支援の基本と権利擁護			
(1) 生活支援の基本 <span style="float: right;">着眼点の数</span>			
①	a	利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	6 項目/8項目
②	a	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	5 項目/7項目
(2) 権利擁護			
①	a	利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	6 項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
ユニットケアの特徴である、一人ひとりのライフスタイルに応じた生活を送っていただくことができるようご利用いただく前に、十分に聞き取りを実施している。			
A-2 環境の整備			
(1) 利用者の快適性への配慮 <span style="float: right;">着眼点の数</span>			
①	a	福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	3 項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
一人ひとりのニーズに沿った環境整備を整えている。			

A-3 生活支援		
(1) 利用者の状況に応じた支援 <span style="float: right;">着眼点の数</span>		
①	a	入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。 <span style="float: right;">6 項目/11項目</span>
②	a	排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。 <span style="float: right;">8 項目/9項目</span>
③	a	移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。 <span style="float: right;">5 項目/7項目</span>
(2) 食生活		
①	a	食事をおいしく食べられるよう工夫している。 <span style="float: right;">1 項目/4項目</span>
②	a	食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。 <span style="float: right;">6 項目/8項目</span>
②	a	利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。 <span style="float: right;">2 項目/6項目</span>
(3) 褥瘡発生予防・ケア		
①	b	褥瘡の発生予防・ケアを行っている。 <span style="float: right;">4 項目/6項目</span>
(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養		
①		介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。 <span style="float: right;">項目/5項目</span>
(5) 機能訓練、介護予防		
①	c	利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。 <span style="float: right;">1 項目/5項目</span>
(6) 認知症ケア		
①	b	認知症の状態に配慮したケアを行っている。 <span style="float: right;">3 項目/7項目</span>
(7) 急変時の対応		
①	a	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。 <span style="float: right;">5 項目/6項目</span>
(8) 終末期の対応		
①		利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。 <span style="float: right;">項目/6項目</span>
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
入浴目のバイタルチェックを必ず行い、安全かつ満足いただけるような介助を行っている。排泄については、ご利用者の方の心身の状態に合わせた排泄介助を行っている。		
A-4 家族等との連携		
(1) 家族等との連携 <span style="float: right;">着眼点の数</span>		
①	a	利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。 <span style="float: right;">4 項目/5項目</span>
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
ご利用者の方に変化や報告事項があった場合は、すぐにご家族(キーパーソン)に報告している。送迎時には、自宅での様子やご利用中のご様子等の報告を行い、コミュニケーションを図っている。		

利用者の要介護状態の改善のためのサービス評価基準(滋賀県独自項目)			
1. プロセス(過程)の評価			着眼点の数
①	b	運動器の機能向上に資する取組を計画的・組織的に行っている。	2 項目/8項目
②	a	日常的な介護サービスにおいて要介護状態の改善に資する取組を行っている。	8 項目/8項目
②	a	要介護状態の改善に資する生活環境等の整備の取組を行っている。	7 項目/8項目
総合評価・判断した理由等			
ご家族、ケアマネージャー、看護、介護が情報共有を図りながら、ご本人の状態にあった運動やストレッチ等を取り入れることで、要介護状態の改善に取り組んでいる。			